

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和3年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標・成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
池田市	街かどデイハウス支援事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特長を活かした活動や地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体を支援することを目的とする。 ○補助対象者:ハッピークラブ特定非営利活動法人	箇所数1カ所、利用者数1,659人、延開所日数157日	△	要介護認定非該当の利用登録者100%の割合(年度当初の利用登録者数67人)を目指し、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能構築を図る。	街かどデイハウスの活動縮小だけでなく、利用者自身の外出自粛も重なり、目標利用者数を大幅に下回った。しかし、電話や手紙による安否確認や、家にいながらでもできる健康体操等の情報を記載したチラシの配布等を実施し、利用者の生活を支え続けた。コロナ禍においても、街かどデイハウスは高齢者が地域で生き生きと暮らすためには必要不可欠であるため、周知・啓発等を引き続き行い地域における存在意義を高めていく。	3,520,000		福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課
泉大津市	街かどデイハウス事業	地域で高齢者の自立支援を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体である市内2カ所の街かどデイハウスに対し、運営補助を行う。	箇所数:2カ所 延べ利用者数:4,463人 延べ開所数:467日 新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う活動縮小や人数制限によるもの	△	利用登録者のうち100%の割合(非該当を継続している人数303人/年度当初の利用登録者303人)で、要介護認定の非該当を継続している。また、新型コロナウイルス感染症蔓延による高齢者の社会活動や活動量の低下をカバーする取り組みを推進している。	利用者登録者は要介護度非該当者ではあったが、新型コロナウイルス感染症蔓延による高齢者の社会活動や活動量の低下とともに現れた実績である。	10,450,158	<a href="https://www.city.zumiotsumi.lg.jp/kakuka/fukushi/koreikaigo/gyoumunogannai/koureisya/ukushisabisu/zaitakusabisu/matikadodeihausu.html">https://www.city.zumiotsumi.lg.jp/kakuka/fukushi/koreikaigo/gyoumunogannai/koureisya/ukushisabisu/zaitakusabisu/matikadodeihausu.html</a>	保険福祉部 高齢介護課
茨木市	街かどデイハウス支援事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体を支援するため、街かどデイハウス事業に対し、市が補助金を交付する。また、介護保険制度下で自立(非該当)と判断される高齢者に対して、住民参加による柔軟できめ細やかな介護予防及び地域支え合いに資するサービスを提供することで、高齢者の住み慣れた地域での自立生活の維持や閉じこもり防止の効果が期待できる。	箇所数:3箇所 延べ利用人数:4,520人 延開所日数:344日 新型コロナウイルスの影響により開所できない期間が発生したため、延開所日数・延べ利用人数ともに目標数値を達成できなかった。	—	要介護認定における非該当継続率を利用登録者のうち95%以上とすることを目指し、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の機能構築に繋げる。	利用者の減少を受け、引き続き新型コロナウイルスの感染予防対策を十分に行い、地域の高齢者が安心して利用できるよう支援を行なう。	9,905,086		健康医療部 長寿介護課
富田林市	街かどデイハウス事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特長を活かした活動や地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体を支援する。	延べ利用者数2,033人、街かどデイハウス数2箇所、活動日数288日 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、閉鎖期間や高齢者自身の利用控えも見受けられたが、2箇所とも活動日数及び延べ利用者数について、概ね当初の予定どおり達成できた。	○	利用登録者の自立継続率100%	今後も新型コロナウイルス感染症拡大が懸念されるが、街かどデイハウスが地域における身近な介護予防拠点及び集いの場として、高齢者自身の自立支援及び活動継続につなげることにより、介護予防(フレイル予防)への取り組みへと繋げていく。	5,179,134		健康推進部 高齢介護課
大東市	お茶のみ休憩所運営事業	社会福祉協議会が事業主体となり実施する「お茶のみ休憩所」に対して家賃・光熱水費等の運営に係る費用を補助するもの。「お茶のみ休憩所」は「気軽にふらっと寄り合える場」として、閉じこもり予防・介護予防の地域拠点となることを目的に実施される。内容は介護予防体操・茶話会・相談事業・福祉情報の提供・軽度認知症者の一時預かり・調理実習等。特長は当該区域の自治会や民生委員、介護者家族の会等で組織される運営委員会が運営主体となり地域の実情に合った創意工夫により運営が行われること。	開所日数:週2日、年間64日 コロナ禍で、4ヵ月開所した。運営委員の努力があったものの、昨年の平均利用者数と変わらなかったため、左記評価を記載した。	○	○閉じこもり予防 ○介護予防 ○仲間づくり ○家族介護者のレスパイト	(1)お茶のみ休憩所の月平均利用者は、16.4名である。コロナ禍で開所を余儀なくされたが、開所を待ち望む利用者は多かった。利用者にとって安心できる居場所として定着している。 (2)自宅から休憩所まで徒歩で来られる利用者も多い。また、福祉・健康に関する情報提供や相談にも対応している。閉じこもり防止や健康保持・介護予防を図るうえで大きな役割を担っている。	460,000	<a href="http://www.svakyu-daito.jp/svoukai.html#p03">http://www.svakyu-daito.jp/svoukai.html#p03</a>	福祉・子ども部 福祉政策課

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和3年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標・成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
和泉市	街かどデイハウス支援事業	本事業は、地域の身近な既存施設を活用して、介護保険制度下で自立と判定された高齢者等に対する介護予防を図りつつ、地域で高齢者の自立生活を支えられるよう住民参加による柔軟できめ細かなサービスを提供する団体を支援し、高齢者の多様なニーズに応えられる基盤整備を図ります。本市内に街かどデイハウスは8ヶ所あります。	箇所数:8か所 延利用者数:13,593人 延開所日数:1,788日	◎	利用登録者のうち80%(非該当を継続する人数151人/年度当初の利用登録者189人)で要介護認定の非該当を継続することを目指す。在宅高齢者の介護予防及び地域の福祉活動拠点としての機能を継続する。	令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者の通所控えや施設での密を避けるため人数調整をするなど、元通りの運営とはできなかったが、感染防止と三密対策を行い、利用者・スタッフがともに協力して運営継続ができた。通所を控えた利用者には、お電話などで様子を確認、自宅でできる体操等の情報提供を行ない、高齢者を孤立させないよう各施設が対応した。利用者はまだ少ないが、感染症が落ち着いた時期に利用者が戻ったことや、新規利用者の利用もあり、結果として103%の利用者について要介護認定の非該当を維持できた。本事業が在宅高齢者の介護予防に重点を置いた地域福祉活動の拠点として一定の役割が果たせているものと評価する。各施設でスタッフ、利用者共に高齢化しているが協力し、健康を維持し活動を継続している。この2年については、継続利用者が介護保険サービスの利用を必要として移行するケースも多く残念ではあったが、引き続き感染症対策を講じた上で高齢者が元気で地域での生活を継続できるよう本事業の継続は重要であると思料する。	34,310,330	<a href="https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/lifeeven/t/koureisha_kaigo/kaigovobou/1330598960127.html">https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/lifeeven/t/koureisha_kaigo/kaigovobou/1330598960127.html</a>	福祉部 高齢介護室
箕面市	いきいき安心ネットワーク事業	独居高齢者世帯等に緊急通報システムを設置する。	(年間延べ件数)6,658件	◎	・緊急通報システムの設置により、高齢者が安心して暮らせる生活基盤を確保する。 ・急病や災害等の緊急事態発生時に迅速な対応を行う。 ・前年度の緊急出動回数114回、緊急搬送回数21回	・緊急通報機器の設置により、高齢者が安心して暮らせる生活基盤を確保する。 ・急病や災害等の緊急事態発生時に迅速な対応を行う。 ・令和3年度の救急出動回数149回、救急搬送回数42回	4,887,396	<a href="https://www.city.minoh.lg.jp/kaigo/i/osirase/zaitakuservie.html#kinnkyuutuhou">https://www.city.minoh.lg.jp/kaigo/i/osirase/zaitakuservie.html#kinnkyuutuhou</a>	健康福祉部 高齢福祉室
羽曳野市	街かどデイハウス支援事業	介護保険制度下で自立と判断される高齢者に対して、住民参加によるきめ細やかな介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、社会的孤立感の解消、心身機能の低下を防ぎ、要支援者・要介護者となるのを予防する。また、地域の福祉活動の拠点として高齢者の見守りや地域住民との交流を行うことにより地域の連携強化が図られる。新型コロナウイルスの影響で休館し、地域住民の交流、集う場が必要とのことで早期再開が望まれた。このことでより一層地域におけるニーズが高まった。	箇所数:2か所 延利用者数:4,698人、開所日数:304日	◎	在宅高齢者の介護予防及び自立支援を図るため、要介護認定非該当の利用登録者が100%(年度末に非該当を継続している人数/年度当初の利用登録者数)の割合で非該当を継続することを目指す。	令和3年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策による緊急事態宣言、まん延防止等重点措置等なが続中ではあったが、水中ウォーキングや脳トレ、歌唱、読書会などそれぞれの街かどデイハウスの特色を生かし、運動器の機能向上や認知症予防といった介護予防につながる取り組みが行われた。活動を自粛された方に対しては電話による健康相談等を実施した。要介護(要支援)状態としない取組みとして、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の構築に寄与できた。	9,600,000		保健福祉部 介護予防支援室 地域包括支援課
門真市	街かどデイハウス支援事業	介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、QOLの向上、閉じこもり予防の効果がある。今後も利用者数の増大を目指すとともに、利用者の更なる健康増進を図ることを目的とする。地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネット、介護予防事業としての活動に取り組む住民参加型非営利団体に対し運営補助を行う。街かどデイハウスの数 2か所	箇所数:2箇所 延利用者数:1,299人 活動日数:132日	△	平成29年度より1箇所が介護予防・日常生活支援事業総合事業へ移行したため、現在は2箇所である。在宅高齢者の自立支援、介護予防の推進のための地域における身近な介護予防拠点の構築。利用者が地域において自立した生活を維持し、要介護(要支援)状態とならないよう活動を行う自立の継続率82.8%(非該当の利用登録者数222人/年度当初の利用登録者数268人)を維持する。	新型コロナウイルスの影響により、3・4ヶ月間活動を中止していたものの、非該当の利用登録者数は182人と前年度と比較すると横ばいであり、自立の方の継続率が高いことから、介護予防事業として機能している。新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら活動に工夫を凝らし、今後も地域における身近な介護予防拠点として、高齢者の自立支援・介護予防の推進を図り、高齢者の外出機会の創出・増加に努める。	3,797,781		保健福祉部 高齢福祉課

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和3年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標・成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
門真市	高齢者の見守りネットワーク事業	本格的な超高齢社会を迎える中で、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯への見守り活動は、ますます重要になってきている。協力企業や団体等にステッカーを配布し、本事業の認知が広がることにより地域全体での見守り機運を高めることで、より広範な見守りを行い、支援が必要な高齢者を早期に発見し、支援につなげることにより住み慣れた地域において誰もが安心して暮らし続けられる社会を実現する。	新規3団体 新規で3団体協定を締結するよう目標にしており、目標通り3団体と締結できた。	○	令和3年度 通報件数 5件	新規協定先及び、希望する企業・団体等へ、ステッカーシール・マグネットシートを追加配布したため、企業内・地域全体での見守り意欲をさらに高めていきたい。また、情報共有及び意見交換会のために会議の場を設ける等スムーズな連携に努めたい。	44,440		保健福祉部 高齢福祉課
高石市	街かどデイハウス事業	在宅の高齢者の介護予防を図り、地域における既存施設を活用し、住民参加による高齢者の自立生活の支援を行う特定非営利活動法人等の団体に対し、運営補助を行う。 ・街かどデイハウスの箇所数 1箇所 ・前年度延べ利用者数 851人	箇所数:1か所、延利用者数:1,061人、活動日数:118日 新しく備品を購入したことによる利用者増。	○	利用登録者のうち100.0%の割合(非該当を継続している人数31人/年度当初の利用登録者数31人)で、要介護認定の非該当を継続しており、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能が図られている。	高齢期をいきいきと過ごすことができるようにするためには、健康づくりを市民一人ひとりが意識し、運動や食事、休養等に取り組むことが重要ですが、仲間との交流や活動の場を提供する団体を支援することにより、引き続き高齢者が地域社会の一員として充実した生活を送ることができるよう支援していく。	3,000,000		高齢・障がい福祉課
泉南市	泉南市街かどデイハウス支援事業	高齢者の介護予防を図るため、地域の既存施設を利用し、住民参加による、柔軟できめ細かな日帰りサービスを提供する住民参加型非営利団体を支援し、当該高齢者の自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図ることを目的とする。 ・街かどデイハウスの数 4箇所	箇所数:4か所 延利用者数:2,569人 開所日:591日 コロナ禍の影響により、利用者数、開所日も目標に達せず、昨年より下回ったものの、電話等による声かけなどを実施し、家に引きこもりがちとなる高齢者と社会のつながりを維持させるなどの取り組みを行った。	△	在宅高齢者の介護予防及び自立支援及び閉じこもり防止のための地域の福祉活動拠点の構築。利用登録者の自立の継続率100%を目指す。	介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、閉じこもりの防止に一定の効果あり。※介護認定を受けた者の中には、住宅改修のみを希望し、以後介護保険サービスは利用していない事例も複数あり。	15,184,000	<a href="https://www.city.sennan.lg.jp/kurasai/kourei/fukushi/service/1561344196136.html">https://www.city.sennan.lg.jp/kurasai/kourei/fukushi/service/1561344196136.html</a>	福祉保険部 長寿社会推進課
四條畷市	街かどデイハウス事業	地域で高齢者等の自立した生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとして、四條畷市唯一の街かどデイハウス事業(街かどデイハウスさんら(四條畷市中野新町11-35))に取り組む住民参加型非営利団体を支援するため、運営費(活動費、光熱水費及び電話代)補助を行う。(街かどデイハウスの数 1箇所)	箇所数:1箇所 延利用者数:562人(開所日数100日) 年間事業計画に基づいて事業を遂行し、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、5月、9月、2月の活動を休止したことに伴い前年からの利用者数が減少したが、1日あたりの来所人数は概ね設定した目標数値を達成することができた。	○	在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の構築 ※年度当初の利用登録者数29名の内、要介護認定非該当の利用登録者数が29名居るが、事業取組みにより要介護状態に至るのを遅らせることを目指す。	在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の構築 ※年度当初の利用登録者数40名の内、要介護認定非該当の利用登録者数が38名居るが、当事業での取組みが要介護認定に至らない効果に繋がった。	1,071,463		健康福祉部 高齢福祉課
交野市	街かどデイハウス支援事業補助金	介護予防や地域の高齢者との交流の場として、また、高齢者の力を活かすことのできる場として、地域の活動拠点を整備し、下記のサービスを行います。 (1)必ず実施すべきサービス:健康チェック・給食・健康体操・筋力向上トレーニングなどの介護予防活動 (2)必要に応じて実施するサービス:趣味・創作活動 (3)利用者の希望に応じて実施するサービス:入浴  その他:街かどデイハウスの数2箇所	実施箇所数:2箇所 延利用人数:1,281人 年間活動日数:162日 新型コロナウイルス感染症の影響で、事業所が中止する時期が発生したため。また利用登録者のうち、数名が要介護認定を受けたため。	△	利用登録者の自立の継続率100%で、要介護認定の非該当を継続し、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域福祉活動拠点としての機能構築が図られたい。	引き続き、利用登録者の自立の継続を目指し、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域福祉活動拠点として、機能構築を図ってきたい。	2,800,530		福祉部 高齢介護課

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和3年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標・成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
島本町	街かどデイハウス事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体に対し、運営補助を行うもの。 街かどデイハウス箇所数:1箇所	1箇所 延利用者733名 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2ヵ月休止したことにより延べ利用者は減少した。さらに、再開後も、コロナ禍の中利用者数は伸び悩んだ。	△	要支援・要介護認定を受けていない自立の高齢者に対し、介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活を維持し、閉じこもり防止を図る。	利用登録者のうち約86%の方が、要介護認定を申請していない方であることから、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能構築が図られている。今後の課題として、感染症対策を行いながら、新規の方や興味のある方などより多くの方が参加しやすいように周知する方法を検討する必要がある。	2,924,639	<a href="https://www.town.shimamoto.lg.jp/soshiki/33/8303.html">https://www.town.shimamoto.lg.jp/soshiki/33/8303.html</a>	健康福祉部 高齢介護課
島本町	ひとり暮らし高齢者等実態把握事業	住民基本台帳上、ひとり暮らしである高齢者に対し、ひとり暮らし高齢者実態把握事業の同意書を送付する。台帳の作成に同意された方の情報を行政と民生委員児童委員で保有し、日頃の見守りや安否確認に活用する。	223名 今年度、新たにひとり暮らしとなった方を対象に調査を実施することができた。	○	65歳以上のひとり暮らし年長者の緊急連絡先を把握することにより、日頃の見守り活動を充実させる。	今年度の調査で返答があった数は118件で返答率は52.9%であった。今後の課題としてはより多くの方に制度を理解していただくように内容の検討や多くの方に周知していく必要がある。	320,513		健康福祉部 高齢介護課
田尻町	田尻町高齢者生きがい事業	田尻町社会福祉協議会に委託して、田尻町内に居住する概ね60歳以上の高齢者の方を対象に、生きがいつくりのために生きがいつくり教室を開催する。DVDを見ながら椅子に座って行える体操や脳トレクイズ・筋トレ・レクリエーション教室を実施し、生きがいつくりや健康維持・介護予防を自発的に行う高齢者を増やすことを目的に、田尻町高齢者生きがい教室を実施する。教室のメニュー作りや、参加者の運動能力を理学療法士が確認し指導することで、高齢者誰もが安心して参加することができ、自発的に自分の生きがいつくりのために教室に参加する高齢者が増える。また、高齢者自らが生きがいつくり活動を行う際の居場所や高齢者同士の交流拠点の提供を行う。令和3年度より地域に出て短期集中的に3か所の集会所にてPTによる指導を行う。令和3年度についても新型コロナウイルスの影響で生きがいつくり教室が開催できず、また、高齢者は自宅で自粛していることから、生きがいつくり教室が開催できない期間については、高齢者が生活不活発病になることを防止し、生きがいを生活でできるよう、地域の集会所にて、生きがいつくりの啓発物を配布するとともに、高齢者の状態を把握し、支援が必要な方には他事業につなげる。	開催回数4月～3月:週5回×4週 のべ参加人数4,046人 高齢者の生きがいつくりのための介護予防の拠点の構築及び、高齢者の健康維持と体力向上を目標とする。参加者の可動範囲体力チェックを実施し、年度末には体力向上結果の確認を行う。60%以上/参加者総数:体力の維持又は向上 配置人数嘱託1名(常勤)及び理学療法士1名(週2回) 定員:1回10名以上 生きがい教室補助員1名(非常勤)、生きがい教室(週3回) 上記が開催できない期間中は、昨年度と同じく地域での生きがいつくり事業を開催。(週3回)	○	高齢者の生きがいつくりのための介護予防の拠点の構築及び、高齢者の健康維持と体力向上を目標とする。参加者の可動範囲体力チェックを実施し、年度末には体力向上結果の確認を行う。60%以上/参加者総数:体力の維持又は向上 配置人数嘱託1名(常勤)及び理学療法士1名(週2回) 定員:1回10名以上 生きがい教室補助員1名(非常勤)、生きがい教室(週3回) 上記が開催できない期間中は、地域での生きがいつくり事業を開催。(週3回)	コロナ禍であっても、高齢者が生活不活病にならないように、生きがいつくりにつながるような資料の配布・啓発を行う。新型コロナウイルス終息後は、町内の高齢者が積極的に参加したくなるような生きがいつくり教室を開催するとともに、高齢者自らが生きがいつくり活動を行うことができるように居場所や交流拠点の提供を行う。	9,628,280		民生部 福祉課
岬町	町営住宅独居高齢者等見守り事業	月2回程度、独居高齢者が多く住む町営住宅を見守り訪問員が訪問し、見守り活動を行う。	巡回員4人×月2回×12ヶ月、延べ96人で事業実施 令和3年度も巡回見守りを予定通りに実施することが出来た。	○	昨年度は巡回員1名の欠席により、予定通り行えなかったが、本年度については、巡回見守りを予定通り実施することにより、高齢者の孤独死を未然に防ぐことを目指す。	令和3年度も巡回見守りを予定通り実施することにより、高齢者の孤独死等を未然に防ぐことが出来た。今後ますます高齢化や核家族化の進展により独居高齢者の増加が見込まれるため引き続き巡回見守り活動を継続的に実施する必要性が高い。	384,000		しあわせ創造部 高齢福祉課